

自己評価及び外部評価結果

【事業所に

事業所番号	1591000060		
法人名	社会福祉法人 十日町福祉会		
事業所名	グループホームよしだ		
所在地	新潟県十日町市南鎧坂446番地1		
自己評価作成日	令和2年8月18日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1591000060-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和2年10月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・施設周辺には田畑、森林が広がり、自然豊かな環境である。リビングの窓から見える田畑や山の様子から、四季の移り変わりが感じることが出来る。
 ・地域との交流も盛んに行われ、地域の方々からはご厚意により畑で採れた作物をいただくことも多く、入居者の方々に新鮮な野菜を調理し提供している。
 ・例年施設行事の際には地域の方々にも声をかけ、多くの方に参加して頂いているが、今年度は感染症対策により、行事は中止となっており、地域の方への声掛けも見合わせている。また、施設前には小学校があり、児童の声や楽器の音が聞こえてくる。毎年小学校の運動会やマラソン大会の際には応援に行き、また合唱の発表会にも声をかけていただく等、交流がある。
 ・ユニットでは個別ケアを推進し、24時間シートの活用、入居後の生活の様子の反映等行い、一人ひとりの思いに沿った生活を送っていただくことが出来るよう努めている。また、各居室、リビング等共有スペースの設えにも気を配り暮らしやすい環境作りに取り組んでいる。
 ・各種研修会への参加や、会議等でのカンファレンスにより、職員個々の資質向上を図っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○理念の実践と取り組み

利用者が地域で心豊かに暮らし続けられる拠り所として、日々の関わりの中で立ち戻ることが出来る原点が理念である。法人の示す理念を基本として、事業所の目標を毎年全職員で話し合い作り上げた。一つは「利用者視点に立ち安心と楽しみのある生活の保障」、もう一つは職員視点から「研修、勉強会を通して認知症の理解等資質の向上」への取り組みを行っている。今年度は新型コロナウイルスといういつもとは違った環境の中、感染防止に努めながら今出来ること、今だから出来ることを模索しながら支援に努めている。

○豊かな自然に恵まれた生活環境

事業所は防災面の観点も含め、地域住民のよりどころとしての役割を開設から9年と言う年月を重ねながら作り上げた。立地条件にも恵まれ、目の前に小学校、近くに保育園と日常的に交流が図られている。農業を基盤とする住宅地でもあり、住民の方からの季節の野菜の差し入れもある。また自然豊かで居室窓からは遮るものがなく、四季の移り変わりを楽しみながら、ゆったりと過ごせる環境となっている。利用者、職員はそこに住まいする住民としての役割を担いながら地域との繋がりを深めている。

○地域の中で安心して自分らしく暮らせるサービスを目指して

やや高台に位置する事業所はどの窓からも光と緑があふれ、清掃が行届き、清潔であたたかさを感じられる。整理整頓がされ利用者の表情も明るく、居心地よい暮らしが窺える。特に重度化しつつある状況の中で、各自の居室にあるトイレでの排泄が、その利用者のリズムを把握した職員の何気ない誘導や声掛けで、スムーズな排泄につながり、利用者の表情が生き生きとすることができる。また、地域の人々との交流も、実際の生活の中で生かされており、季節の野菜の差し入れや、小学校や保育園児との交流も大切な日常の一つになっている。地区長はじめ、非常時駆けつけてくださるメンバーが、防災訓練には、参加協力をいただき、具体的な災害対策を地区の方々と共に共有し、地域の中で、安心して暮らせる支援を継続している。

